

令和4年度

赤羽根の里だより

茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り

令和4年11月1日(火)

校長 高橋 励

霜月(しもつき)になりました。

今年もあとふた月を残すばかり。正門の落葉もひと段落。街のあちこちにいたカボチャのお化けは次の飾りにバトンタッチ。

この先、3年生は、義務教育課程修了後の(簡単にいうと来年の4月からの)自分の姿を思い描き、その実現に向けて為すべき行動を選択していくこととなります(いずれ社会の中で自分の力で歩んでいくための準備ですね)が、社会的な力の成長スピードは人それぞれ。必要な場面であればオトナとしての支えをお願いいたします。でも、自分で考えたり努力したりすることをサボらせないように心を配ることもまたオトナの愛情です。子どもたちが春に向かってよりよく成長していけるようお力添えください。

Dear Student(*^_^*)

“チームおはよう!”の皆さん!

いつも元気をありがとう! 生徒会本部役員が“チーム行動部隊”として朝の声かけをしていてお陰もありますが、“自分も一声あいさつしてみよう!”と自分の意思で動き出した人がけっこういるようで、この3週間ほどの間にその勢力はさらに広がっていますね。

ところで、実は竹箒を持って正門に立っているこの間、朝のあいさつの変化を感じています(あくまで個人の感想ですが…)。

まず、こちらに顔と視線を向けてあいさつをしてくれる人が増えました。そして「声をかけられたから」ではなく、先に言葉を投げかけてくれる人が急増中。加えて、少し離れたところにおいても十分受け取れるしっかりした声量の“おはよう”を届けてくれる人が増えています(合唱祭の頃からかなあ)。さらに、正門の影で落ち葉掃きしている私の姿は見えないはずなのに、ねらい澄ましたように声を届けてくれる人がいます。このレベルの人たちは驚きと尊敬に値する相当なあいさつの上級者=達人かも。

朝、“おはようございます”の一言が無くても、一日は始まります。でも、“あいさつ上手”がたくさんいてくれると、なぜかエネルギーが沸いてくるのは私だけではないと思うのですがどうですか?

“チームおはよう!”は、まだまだ絶賛加入募集中(手続き不要!)です。あいさつ初心者でも得意でなくても、本部役員の声に“あいさつ”を返すとそこから始められますよ。

そういえば、“無意識の思い込み・決めつけ”が無いかな?と先週インクルーシブ講演会でお話いただきましたね。また、“お互いが過しやすい”かどうかは、相手への敬意を持ってお互いの立場や思いを伝え合う(=対話する)ことが大切だ、とも。

誰かに、その日のエネルギーを削るような辛さを味わわせながらムリにでもあいさつをさせたいなんて思っていないです。でも、もし、あなたの気持ちがちょっとでも動いたのであれば、チームへの参加、お待ちしています。(^^)お気軽にどうぞ!